



焼岳 Yakedake Volcanic Hazard Maps 火山防災マップ

焼岳(標高2,455m)は、現在も噴気活動が盛んな火山で、溶岩ドームとそれが崩壊した火砕流堆積物で作られています。焼岳は1万5千年前頃から形成され、以降、溶岩や火砕物の噴出が続いています。約2千3百年前にはマグマ噴火が起こり、その後も、千年に4回の割合で水蒸気噴火が発生しています。最新の気象情報・火山情報を入力し、装備を整えて登山しましょう。

発行：長野県松本地域振興局
協力：焼岳火山防災協議会

気象、火山に関する情報

気象庁地震火山部火山監視課 **03-6758-3900**
火山監視・警報センター (気象庁代表 平日日中のみ)

長野地方気象台 **026-232-3773**
(平日日中のみ)

http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html

国土交通省 防災情報提供センター
<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

噴火警戒レベル

住民避難等の判断基準については、気象庁が発表する「噴火警戒レベル」を基に設定しています。影響する危険範囲や、必要な防災対策を表す指標で、火山活動の状況により1～5レベルに区分けされており、火山の周辺住民、観光客、登山者等とのべき防災行動がひと目で分かるキーワードを設定しています。

噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。
噴火警報	居住地域	レベル4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
火口周辺警報	火口周辺	レベル2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。

噴火警戒レベル2 火口周辺規制

【噴火警戒レベル2で発生が予想される現象】

大きな噴石(直径50cm程度以上)

風の影響をほとんど受けずに飛散します。発生から避難までの時間的猶予はほとんどありません。生命に対する危険性が高いため、噴火警報等を活用した事前の入山規制が必要です。

噴火警戒レベル2
→1km以内に飛散する可能性

小さな噴石(火山礫)

風下側では風に流されて遠方まで降るおそれがあります。火口付近では、登山者等が死傷することがあります。

水蒸気噴火

火山の地下にある水が加熱され、または減圧により、急激に水蒸気となって膨張することを駆動力とする噴火。

火山灰

風によって火口から離れた広い範囲に飛散します。火山灰が目に入ったり、大量に吸い込んだりした場合、健康被害が生じるおそれがあります。

泥流

焼岳では、噴火に伴い、火口から泥流が噴出する場合があります。

降灰後の土石流

雨が降ると、噴火によって谷などに堆積した火山灰が流出して、土石流が発生する可能性があります。土石流の危険性がある場合は、噴火警戒レベルが「レベル2」「レベル3」であっても、避難が必要となる場合がありますので、発表される情報に十分注意してください。



▲	山頂(山岳名)	⚠	注意喚起情報
—	登山道	⚠	危険情報
- -	登山道(一般的ではない難路)	○	想定火口範囲
—	道路(路線番号)	■	レベル2の規制範囲(想定火口から1km)
—	川・沢(川・沢名)	■	居住地域
—	ロープウェイ	○	登山道・道路の規制点(レベル2~)
⛖	登山届ポスト	⚠	規制対象登山道(レベル2~)
⛖	山小屋	⛖	指定避難所
		ヘリ	ヘリポート

焼岳の噴火でできた上高地

日本屈指の観光地である上高地は、北アルプスの谷間、標高1,500mの高地にあり、大正池から横尾までの前後約10km、幅最大約1kmの巨大な堆積平野を形成しており、日本はもとより世界でもまれな地形です。古代より焼岳火山群の噴火によって梓川がせき止められ、池が生じ、そこに土砂が堆積して平野が生まれたと考えられています。上高地はまさに焼岳噴火のたまものといえます。



噴火警戒レベル3 入山規制

入山規制

この地図は、焼岳が噴火するなど火山活動が活発化し、気象庁から「噴火警戒レベル3（入山規制）」が発表された場合に、国・県・市などの防災関係機関が「焼岳火山防災避難計画」に基づいて実施する防災対策を表したものです。
ただし、噴石や降灰の飛散状況によっては、警戒レベル3で実施するとされている防災対策の実施時期が早まる可能性もありますので、噴火時には、発表される情報に十分注意してください。

【噴火警戒レベル3で発生が予想される現象】

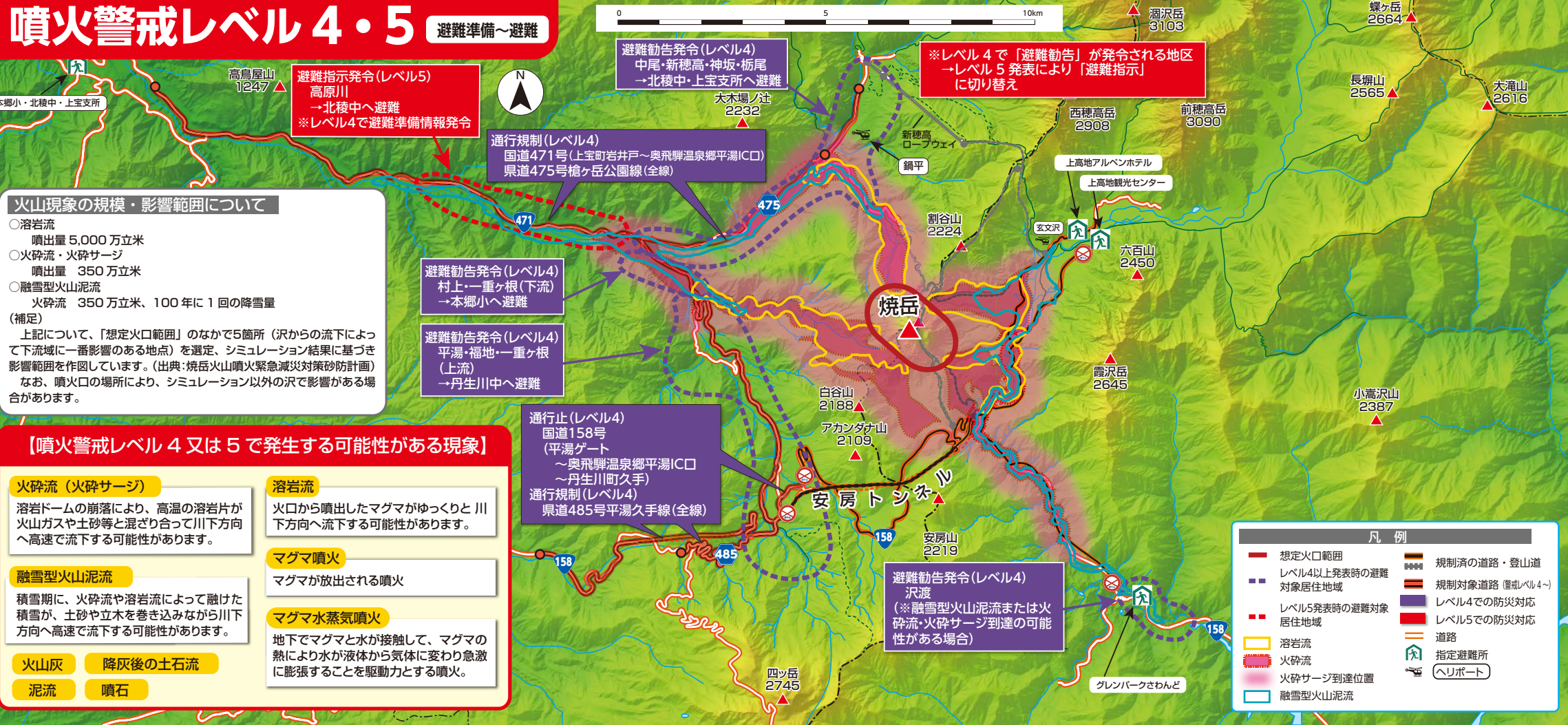
- 大きな噴石（直径50cm程度以上）
- 噴火警戒レベル3 ケース①→1kmを超えて飛散する可能性
- ケース②→2km付近まで飛散する可能性
- 小さな噴石（火山礫）
- 火山灰
- 泥流
- 降灰後の土石流
- 水蒸気噴火

噴火警戒レベル4・5 避難準備～避難

避難準備～避難

【噴火警戒レベル4又は5で発生する可能性がある現象】

- 火山現象の規模・影響範囲について
 - 溶岩流 噴出量 5,000万立米
 - 火砕流・火砕サージ 噴出量 350万立米
 - 融雪型火山泥流 火砕流 350万立米、100年に1回の降雪量(補足)
 上記について、「想定火口範囲」のなかで5箇所（沢からの流下によって下流域に一番影響のある地点）を選定、シミュレーション結果に基づき影響範囲を作図しています。（出典：焼岳火山噴火緊急減災対策防衛計画）
なお、噴火口の場所により、シミュレーション以外の沢で影響がある場合があります。
- 火砕流（火砕サージ）
 - 溶岩ドームの崩落により、高温の溶岩片が火山ガスや土砂等と混ざり合って川下方向へ高速で流下する可能性があります。
- 溶岩流
 - 火口から噴出したマグマがゆっくりと川下方向へ流下する可能性があります。
- 融雪型火山泥流
 - 積雪期に、火砕流や溶岩流によって融けた積雪が、土砂や立木を巻き込みながら川下方向へ高速で流下する可能性があります。
- マグマ噴火
 - マグマが放出される噴火
- マグマ水蒸気噴火
 - 地下でマグマと水が接触して、マグマの熱により水が液体から気体に変わり急激に膨張することを駆動力とする噴火。
- 火山灰
- 降灰後の土石流
- 泥流
- 噴石



避難指示発令(レベル5)
高原川
→北稜中へ避難
※レベル4で避難準備情報発令

避難準備情報発令(レベル4)
中尾・新穂高・神坂・栃尾
→北稜中・上宝支所へ避難

通行規制(レベル4)
国道471号(上宝町岩井戸～奥飛騨温泉郷平湯IC)
県道475号槍ヶ岳公園線(全線)

避難勧告発令(レベル4)
村上・一重ヶ根(下流)
→本郷小へ避難

避難勧告発令(レベル4)
平湯・福地・一重ヶ根(上流)
→丹生川中へ避難

通行止(レベル4)
国道158号(平湯ゲート～奥飛騨温泉郷平湯IC)
～丹生川町久手)
通行規制(レベル4)
県道485号平湯久手線(全線)

避難勧告発令(レベル4)
沢渡
(※融雪型火山泥流または火砕流・火砕サージ到達の可能性がある場合)

避難準備情報発令(レベル4)
中尾・新穂高・神坂・栃尾
→北稜中・上宝支所へ避難

通行規制(レベル4)
国道471号(上宝町岩井戸～奥飛騨温泉郷平湯IC)
県道475号槍ヶ岳公園線(全線)

避難勧告発令(レベル4)
村上・一重ヶ根(下流)
→本郷小へ避難

避難勧告発令(レベル4)
平湯・福地・一重ヶ根(上流)
→丹生川中へ避難

通行止(レベル4)
国道158号(平湯ゲート～奥飛騨温泉郷平湯IC)
～丹生川町久手)
通行規制(レベル4)
県道485号平湯久手線(全線)

避難勧告発令(レベル4)
沢渡
(※融雪型火山泥流または火砕流・火砕サージ到達の可能性がある場合)

避難準備情報発令(レベル4)
中尾・新穂高・神坂・栃尾
→北稜中・上宝支所へ避難

焼岳の主な火山活動史

- 約2300年前
 - 山頂の溶岩ドームの形成とその崩落による火砕流(中尾火砕流)の発生(最新のマグマ噴火)
- 1907～1939年(明治40～昭和14年)
 - ほぼ毎年のように水蒸気噴火が発生
 - 1912、1925年には東京まで降灰
 - 1915年(大正4年)6月6日の噴火で流れ出た土石流(泥流)で大正池形成
- 1962～1963年(昭和37～38年)
 - 水蒸気噴火
 - 北側斜面に割目火口形成
 - 火口近くの旧焼岳小屋が噴石で大破、山小屋で2名負傷
- 1995年(平成7年)
 - 中の湯の工事現場で水蒸気爆発
 - 作業員4名が犠牲となった



昭和37年噴火 提供:奥原貞司



焼岳小屋から焼岳方面への登山道より望む焼岳頂上



緊急時の連絡先

- 長野県松本警察署 0263-25-0110
- 松本広域消防局 0263-25-0119
- 火山の様子に異変を感じたら
気象庁地震火山部火山監視課 0570-015-024
火山監視・警報センター (ナビダイヤル)

行政機関連絡先

- 長野県危機管理部危機管理防災課 026-235-7184
- 長野県松本地域振興局 0263-47-7800
- 松本市役所 0263-34-3000

携帯電話サービスエリアの確認

NTT ドコモ

au

Softbank

【北アルプス方面への入山】
＜岐阜県側＞
新穂高入山口(全方面)・笠ヶ岳入山口からの入山について、噴火の状況を見ながら全面的に規制を行う可能性があります。
＜長野県側＞
道路規制が開始され上高地内からの入山はできません。
【北アルプス方面からの下山】
麓では噴火の状況により全面規制が行われるため、特に登山者の方は別ルートでの下山の検討が必要となります。

【上高地内】
レベル3(ケース②)では、県道24号(上高地公園線)は「通行不可」となり、退避中止となります。
早期の速やかな退避行動が必要です。

交通規制
レベル3(ケース①):退避車両のみ通行可
レベル3(ケース②):通行不可
・国道158号
平湯ゲート(岐阜県)～沢渡ゲート(長野県)
・安房峠道路(平湯IC～中ノ湯IC)
・県道24号上高地公園線
・その他林道、作業道

- 凡例
- 想定火口範囲
 - レベル3の規制範囲(想定火口から2km)
 - 居住地域
 - 登山道・道路の規制点(レベル3～)
 - 規制対象登山道(レベル3～)
 - 規制の対象道路(レベル3～)
 - レベル3で実施する防災対応
 - 道路
 - 指定避難所
 - ヘリポート

- 凡例
- 想定火口範囲
 - レベル4以上発表時の避難対象居住地域
 - レベル5発表時の避難対象居住地域
 - 溶岩流
 - 火砕流
 - 火砕サージ到達位置
 - 融雪型火山泥流
 - 規制済の道路・登山道
 - 規制対象道路(レベル4～)
 - レベル4での防災対応
 - レベル5での防災対応
 - 道路
 - 指定避難所
 - ヘリポート